

TOTO

洗濯機用床給水栓

TW15型
TWA15型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)





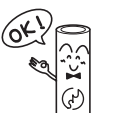

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。







●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷ままたは物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 注意	
 禁止	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しない</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損し、水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。なお、洗濯機に給湯する場合は洗濯機の上限温度にご注意ください。</p> 
	<p>強い力や衝撃を与えない</p> <p>破損のおそれがあり、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>TWA15型</p> <p>JIS品以外の樹脂管は取り付けない</p> <p>水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>本水栓は全自動洗濯機専用のため、二層式洗濯機には使用できない</p> <p>水栓本体が取り付けず、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

 注意	
 禁止	<p>TWA15型</p> <p>さや管や保温材をカットする際は、カッターなどで樹脂管に傷を入れない、また、カッターなど樹脂管に傷が入るおそれのある工具は使用しない</p> <p>樹脂管に傷が入ると、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>本商品の分解・改造は行わない</p> <p>分解、改造箇所から水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
 分解禁止	<p>TWA15型</p> <p>AHS継手を分解し、再利用しない</p> <p>水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>専用の給水継手を利用する</p> <p>給水ホース(市販品)を使用すると、水が吹き出し家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。洗濯機に同梱されている給水ホースは使用しないため、別途保管しておいてください。</p> 
 必ず実行	<p>水抜きする場合は必ず手を保護したうえで行う</p> <p>給湯用としてご使用の場合、たまっている湯が出て、やけどをするおそれがあります。</p> 
	<p>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部に保温材を巻く</p> <p>部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

⚠ 注 意

TWA15型

樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認する
傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直す
水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



TWA15型

樹脂管を床下より引き出すときは、樹脂管に傷が入らないように行う
樹脂管に傷が入ると水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



TWA15型

樹脂管はパイプカッターを用いて、切断面が管軸に直角になるように切断する
斜めに切断するとAHS継手のOリングがシール不良となり、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



TWA15型

インコアは必ず根元まで樹脂管に挿入する
インコアと樹脂管の切断端面が2mmを超える場合は、樹脂管を直角に切断し直す
インコア装着不良は、AHS継手のOリングがシール不良となり水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



TWA15型

AHS継手は樹脂管のシール位置まで差し込む
差し込み不足の場合、樹脂管が抜けて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



TWA15型

AHS継手接続要領に従い、樹脂管が継手に確実に接続されていることを確認する
不完全接続の場合、樹脂管が抜けて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



TWA15型

止水栓とAHS継手は、すき間ができないように確実に押し込む
押し込みが不完全な場合、クイックファスナーが正しく装着できず外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

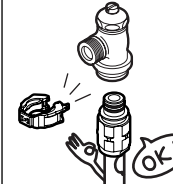


必ず実行

⚠ 注 意

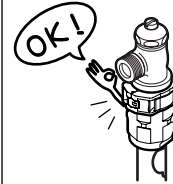
TWA15型

クイックファスナーは必ず同梱品を取り付ける
市販品や類似品のクイックファスナーを取り付けると、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



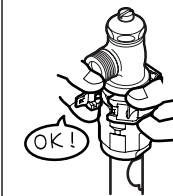
TWA15型

クイックファスナーは正しく取り付け、目視で確認する
取り付けが不完全な場合、クイックファスナーが外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



TWA15型

クイックファスナーを外すときは、クイックファスナーに手をそえて外す
手をそえずに押し外すと、クイックファスナーが勢いよく外れてけがをするおそれがあります。



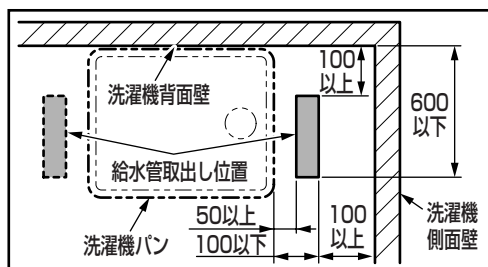
必ず実行

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度	85℃以下 ※洗濯機に給湯する場合は、洗濯機 の上限温度にご注意ください。	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途	一般住宅全自動洗濯機用	

3 取り付け前に

- 本商品は床給水専用商品です。右図の施工位置を確認したうえ、施工してください。
- 本商品の給水ホースを折り曲げることなく施工してください。吐水量が少なくなるおそれがあります。
- TWA15型の場合、各メーカーのAHS継手接続要領に従い、樹脂管がAHS継手に確実に接続されていることを必ず確認してください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の水圧をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。



4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

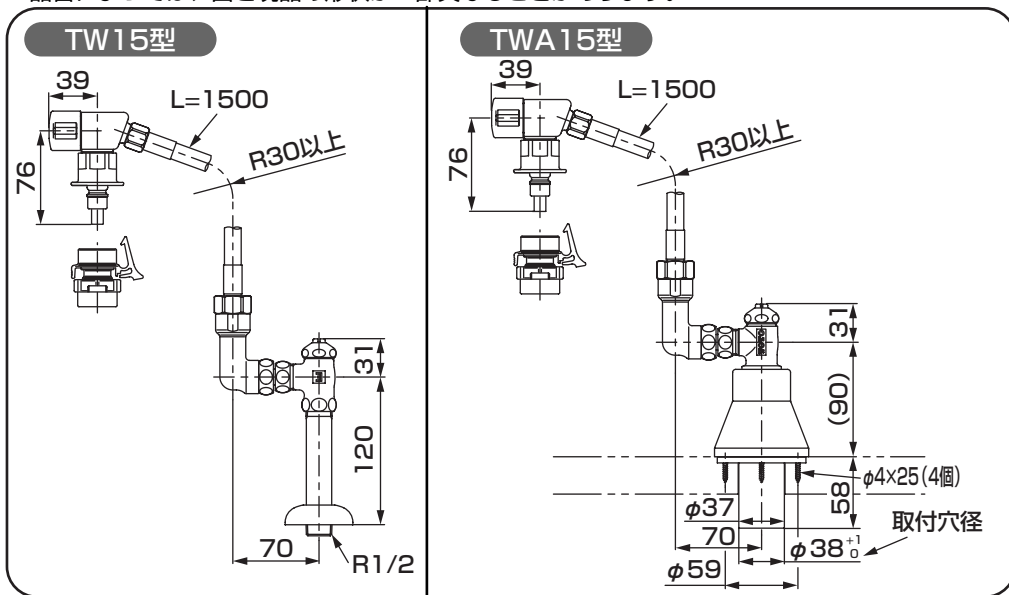
水栓本体部		その他	
止水栓部			
TW15型		TWA15型	
 止水栓本体	 止水栓本体	 カバー	 ナット (B)
 給水管	 クイックファスナー	 さや管アダプター (さや管呼び径 22・25用)	 リング
 フランジ	 バインドタッピンねじ (φ4×25)	 ナット (A)	 パッキン (13A用・スリット入り)
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <別売品> AHS継手 (TNA40ARX13) </div>	 床フランジ	 プッシュ

※品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。

5

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



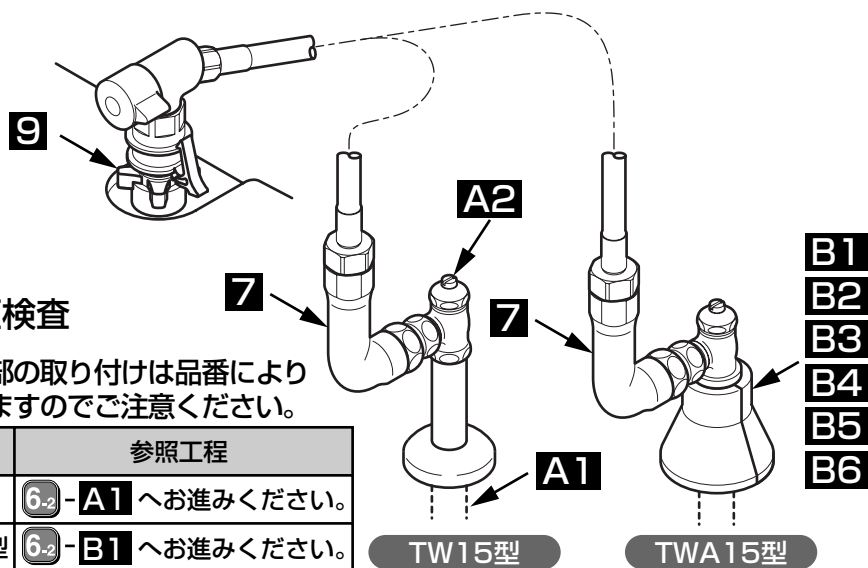
6-1

施工手順

8 耐圧検査

※止水栓部の取り付けは品番により異なりますのでご注意ください。

品番	参照工程
TW15型	6-2-A1へお進みください。
TWA15型	6-2-B1へお進みください。



6-2

A 『TW15型』の場合

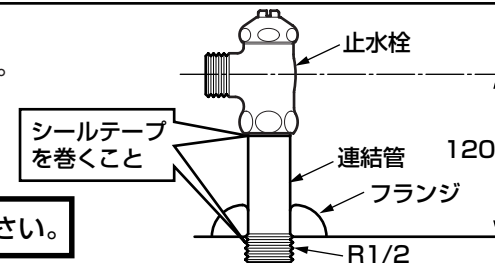
A1 給水管内の清掃

取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要

A2 止水栓の取り付け

フランジ、連結管、止水栓を取り付ける。

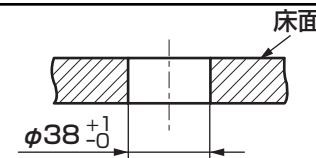


以後の作業は6-7へお進みください。

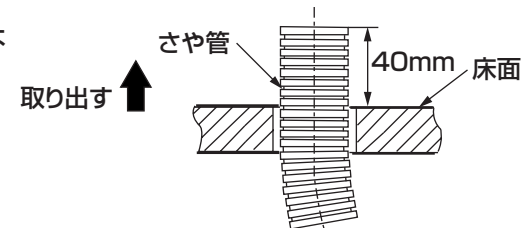
B 『TWA15型』の場合

B1-1 床フランジの取り付け

① φ38の床穴をあける。

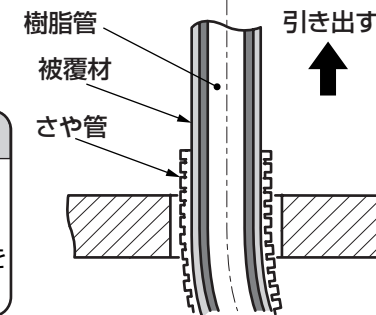


② 床下よりさや管を引き出し、床面より40mm程度で切断する。



③ 床下より樹脂管を引き出す。

※さや管仕様の場合は被覆材は付いていません。



注意

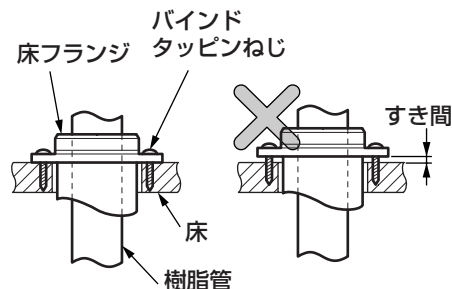
樹脂管を床下より引き出すときは、樹脂管に傷が入らないように行う
 必ず 樹脂管に傷が入ると水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

裏面へつづく

B1-2 床フランジの取り付け(つづき)

④床フランジを、さや管および樹脂管に通し、床に取り付ける。

※床との間にすき間ができないように、4本のバインドタッピンねじで均一に取り付けてください。

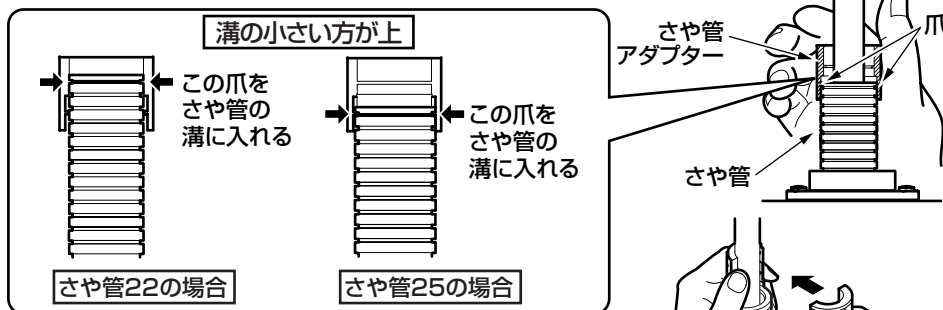


注意

- バインドタッピンねじの締め付けは、確実に行うガツキの原因になります。
- 床フランジは必ず仕上げ床に取り付ける

B2 さや管アダプターの取り付け

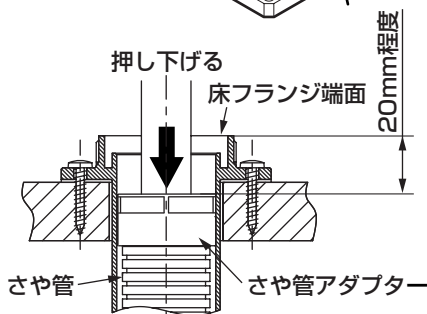
①半割のさや管アダプターのうち、片方の爪をさや管の溝に入れる。



②もう一方のさや管アダプターの爪も①と同様にさや管の溝に入れ、①で取り付けたさや管アダプターと合わせる。

③さや管を床フランジ端面より20mm程度、床フランジの中へ押し下げる。

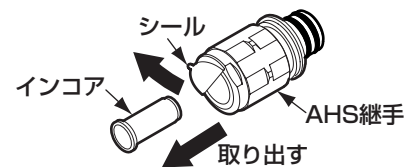
※さや管を押し下げる時は、さや管アダプターがさや管より外れないように注意してください。



B3 AHS継手の接続

TOTO AHS継手(別売品)の場合

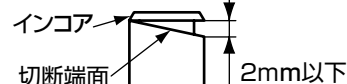
- ①シールをはがし、インコアを取り出す。
- ②はがしたシールをインコア端部に合わせ、樹脂管にはる。
- ③インコアを樹脂管の根元まで挿入する。



注意

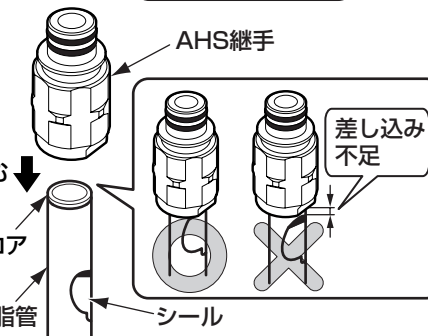
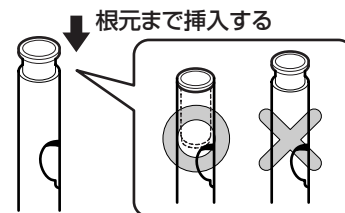
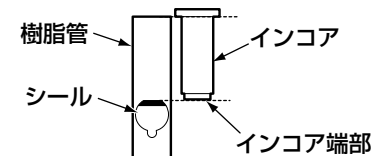
- 樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認する
傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直す
- インコアは必ず根元まで樹脂管に挿入する
- インコアと樹脂管の切断端面が2mmを超える場合は、樹脂管を直角に切断し直す

必ず実行



傷や汚れ、斜め切断は、AHS継手のOリングがシール不良となり水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

- ④AHS継手をシール位置までしっかり樹脂管に差し込んだあと、引っ張って抜けないことを確認する。
- ⑤AHS継手を少し回転させ、樹脂管となじませる。



注意

- AHS継手は樹脂管のシール位置まで差し込む
差し込み不足の場合、樹脂管が抜けて水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

注意

シールは樹脂管からはがさないでください。検査時のシールによる確認ができなくなります。

各メーカーAHS継手(別売品)の場合

AHS継手を各メーカーのAHS継手接続要領に従い、樹脂管に確実に接続する。

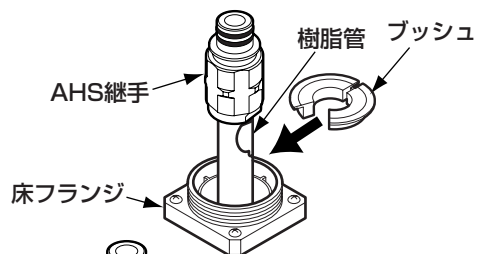
注意

- 樹脂管挿入部の表面に傷や汚れがないか確認する
傷や汚れがある場合は、樹脂管を切断し直す
水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

B4 床フランジ部材の取り付け

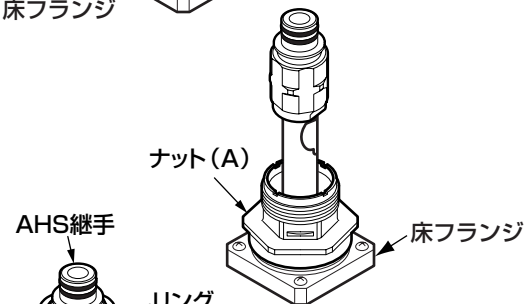
① プッシュを樹脂管に挟みながら、床フランジに取り付ける。



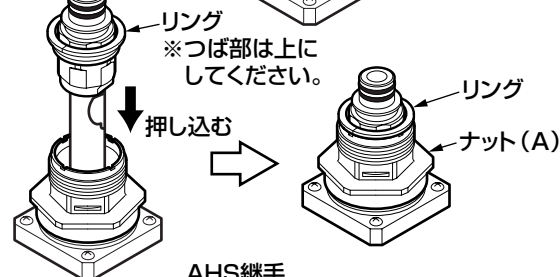
② パッキン(スリット入り)をテーパが付いている方の面を上にして樹脂管にはめ、スリット方向に両側から押しながら床フランジに入れて、①のプッシュの上に取り付ける。



③ 床フランジにナット(A)を取り付ける。



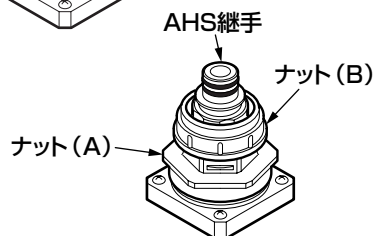
④ AHS継手にリングのつば部を上にして取り付け、ナット(A)部にAHS継手を押し込む。



注意

リングは必ずつば部を上にして取り付けてください。

⑤ ナット(B)をナット(A)に締め付け、AHS継手を固定する。



B5 止水栓の接続

AHS継手に止水栓本体を取り付け、クイックファスナーで固定する。

注意

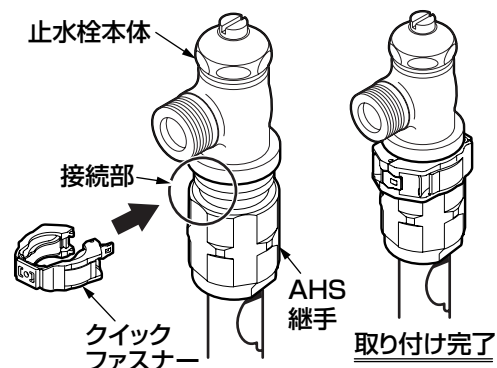
● 止水栓本体とAHS継手はすき間ができないように確実に押し込む

● クイックファスナーは正しく取り付け、目視や鏡で確認する



必ず
実行

取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



注意

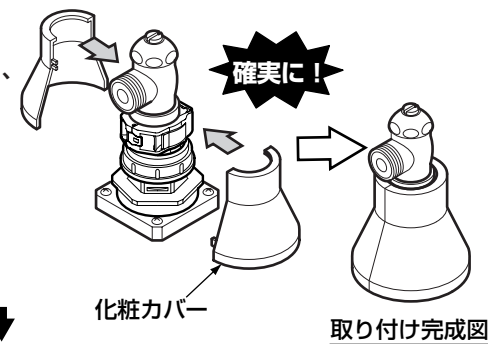
クイックファスナー取り付け上の注意に関しては、同梱のクイックファスナー施工説明書を参照ください。

B6 カバーの取り付け

半割の化粧カバーの突起部と穴部を合わせ、「カチッ」と音がするまで確実にかみ合わせる。

注意

カバーがうまくかみ合わない場合はB5でのクイックファスナーの取り付けが不完全である可能性がありますので確認してください。

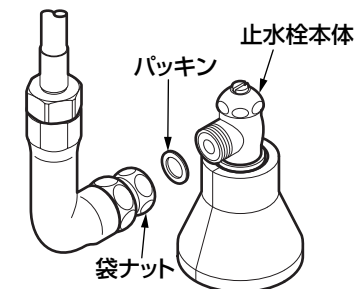


以後の作業は 6-4 - 7 へお進みください。

7 水栓本体の接続

① 袋ナットにパッキンを入れる。

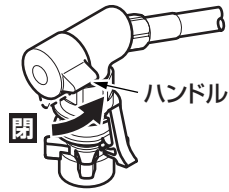
② 手締めで袋ナットを止水栓本体にねじ込み、さらにモンキーレンチなどで約1/4回転増し締めする。



8 耐圧検査

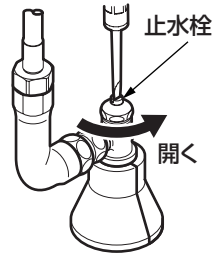
- ①ハンドルを反時計回りに回し、レバーを水平(「閉」の状態)にする。

※工場出荷時は「開」の状態(レバーが下向き)になっています。



- ②止水栓が開いていることを確認する。

※止水栓が開いていない場合は反時計回りに回して開けてください。

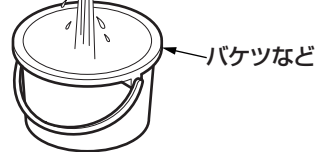


- ③ハンドルを時計回りに回し、レバーを下向き(「開」の状態)にし、給水ホースなどにたまったエアーを抜く。

※給水継手は外さないでください。



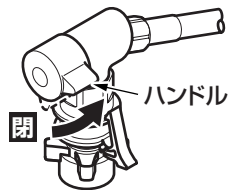
- ④ハンドルを反時計回りに回し、レバーを水平(「閉」の状態)にする。



- ⑤この状態で耐圧検査を実施する。

注意

耐圧検査の際、給水ホースが折れ曲がらないように注意してください。
給水ホースが折れ曲がった状態では十分な吐水量を得ることができないおそれがあります。



9 洗濯機への取り付け

- ①水栓本体から給水継手を外す。

※ストッパーの根元を押さえ、ロックリングを引き下げ、ボールが見えた状態で吐水口から給水継手を引き抜いてください。

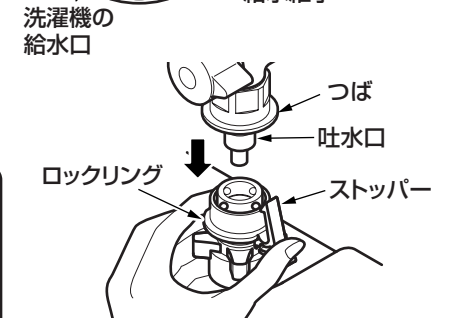
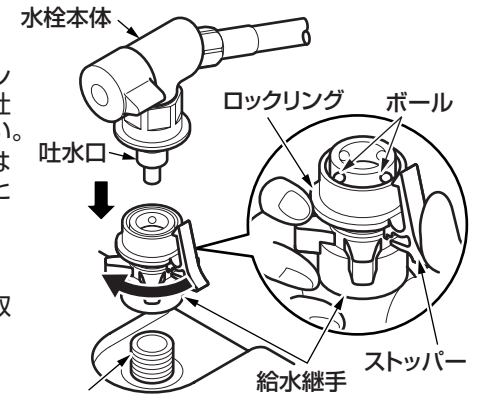
※ロックリングが引き下げられないときはロックリング部を約45°回転させたあと再び引き下げてください。

- ②給水継手を取り付ける。

※洗濯機の給水口に給水継手をしっかり取り付けてください。

- ③水栓本体を取り付ける。

※ストッパーの根元を押さえ、ロックリングを引き下げ、ボールが見えた状態で吐水口を差し込み、ストッパーをつばに引っ掛けてください。



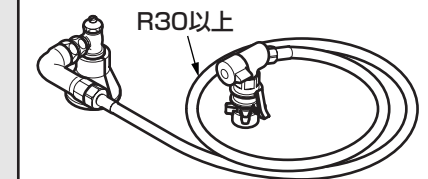
注意

給水ホースが折れ曲がらないように取り付けてください。
給水ホースが折れ曲がった状態では十分な吐水量を得ることができないおそれがあります。

- ④水栓本体を上向きに引っ張り、抜けないことを確認する。

注意

洗濯機へ取り付けるまで仮置きする場合、給水ホースが折れ曲がることのないようにR30以上を目安にまとめてください。

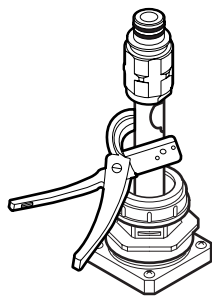


7 メンテナンス方法

注意

インコアを入れ忘れた場合やAHS継手を取り替える場合は次の要領で接続し直してください。

- ① AHS継手からクイックファスナーと止水栓本体を取り外す。
※取り外したクイックファスナーはなくさないように注意してください。
- ② 樹脂管を切断し、新しいAHS継手(別売品)を樹脂管に接続し直す。
- ③ AHS継手に止水栓本体を接続する。



AHS継手を分解、再利用しない

水漏れで家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

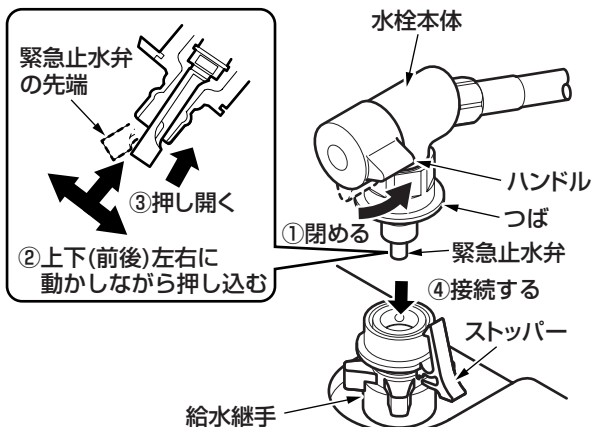
8 使用上の注意

この商品は緊急止水弁機構を搭載しております。
以下の内容をお読みいただき、お客様に内容をご説明ください。

緊急止水弁機構

水栓本体が外れても、水圧とばねの力で水を止める機構です。
この緊急止水弁は水圧がかかったままですと、水栓本体を接続しにくくなりますので、以下の要領で水栓本体を再度接続してください。

- ① ハンドルを反時計回りに回し、レバーを水平(「閉」の状態)にする。
- ② 緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下(前後)左右に動かしながら押し込み水圧を逃す。
- ③ 緊急止水弁を容易に押し開くことができることを確認する。
- ④ 給水継手に水栓本体を接続する。
- ⑤ 給水継手のストッパーがつまみに引っ掛かっていることを確認する。



9 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① 止水栓本体のガタツキはないですか？

↳ 6-2 - A2「止水栓の取り付け」

6-4 - B5「止水栓の接続」参照

② 継手のガタツキはないですか？

↳ 6-4 - 7「水栓本体の接続」参照

水出し確認

配管部の元栓および止水栓を開け、ハンドルを時計回りに回し、レバーを下向きにして水が出るか確認してください。

③ 給水継手から水は出ますか？

↳ 6-5 - 8「耐圧検査」
- 9「洗濯機への取り付け」参照

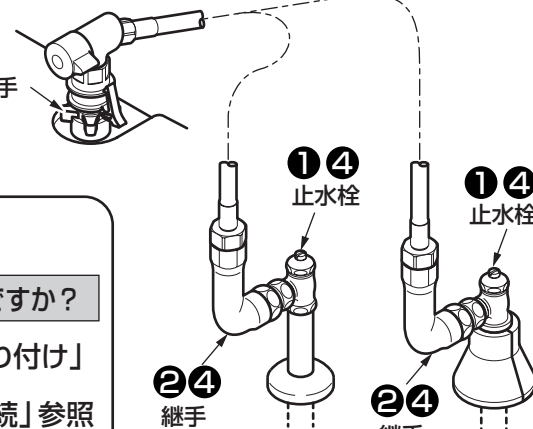
水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

④ 止水栓の接続部およびAHS継手からの水漏れはないですか？

↳ 6-2 - A2「止水栓の取り付け」
6-3 - B3「AHS継手の接続」
6-4 - B5「止水栓の接続」
- 7「水栓本体の接続」参照

③ 給水継手



TW15型

TWA15型

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。